

## カンボジア王国バタンバン周辺の地下水の起源と滞留時間 Source and residence time of groundwater around Battambang region in Kingdom of Cambodia

浅井 和見<sup>1\*</sup>, Lun Sambo<sup>2</sup>, 徳永 朋祥<sup>2</sup>, 茂木 勝郎<sup>2</sup>

ASAI, Kazumi<sup>1\*</sup>, Lun Sambo<sup>2</sup>, TOKUNAGA, Tomochika<sup>2</sup>, MOGI, Katsuro<sup>2</sup>

<sup>1</sup> 株式会社地球科学研究所, <sup>2</sup> 東京大学

<sup>1</sup>Geo-science Laboratory Inc, <sup>2</sup>University of Tokyo

アジアモンスーン気候は、乾季・雨季が明瞭に分けられるため、年間を通じて安全な水資源を確保することが地域の社会生活を維持する上で重要である。カンボジア王国のトンレサップ湖周辺地域は、湖が示す大きな水位変動に伴い、水文学的過程も大きく影響を受けている。特に、トンレサップ湖の西に位置するバタンバン地域では、主要な河川である Sangkae 川の水位が 7m も変動し、地下水位も季節的に大きな変動をしていることが知られている。地下水と河川水・湖水がどのように関連しており、また、それに伴いどのように物質が移行しているかを明らかにすることは、今後の地域の開発や水利用に関わる検討を行う上で重要な課題となっている。特に、乾季には表流水を使える地域が河川近傍のみになることから、地下水流動状況を明らかにすることが、飲用水源や農業用水の確保にも重要な意味を持つことになる。本研究では、バタンバン地域における地下水流動状況を把握することを目的として、2011年11月に最初の現地調査を実施し、15地点の井戸で地下水の採水を行った。発表では、安定同位体、水質、トリチウム、六フッ化硫黄(SF<sub>6</sub>)の分析結果に基づいて、地下水の起源や滞留時間について報告する予定である。

キーワード: カンボジア王国, バタンバン, 地下水年代, 六フッ化硫黄, トリチウム, 安定同位体

Keywords: Kingdom of Cambodia, Battambang, Groudwater age, Sulfur hexafluoride, Tritium, Stable isotopes